



第3回 東京大回廊写真コンテスト

入選作品写真集

2018

ご挨拶

第3回東京大回廊写真コンテストに多くの作品をご応募いただき心からお礼申し上げます。今回応募された作品は、千代田区の四季折々の風景やまちの伝統行事、人の営みといった様々な瞬間を皆様からの目線で表現し、千代田区の持つ様々な魅力を十分に伝えております。

千代田区は大都市東京の中心に位置し、立法・司法・行政の三権及び経済・金融という首都機能を備えているとともに、江戸開府以来400年以上の歴史・文化が脈々とまちと人々の生活に息づいております。また、皇居を中心にして都心とは思えない多くの緑に抱かれています。

そうした千代田区の魅力を写真を通して新たに発見し、国内外に伝える趣旨からこの「東京大回廊写真コンテスト」を開催しています。今回のコンテストから審査員を一新し、観光の視点により重きを置き、さらなる千代田区の観光をアピールすることにしました。

第3回目となる今回は714点の作品の中、審査員の厳正な審査を経て入選した78点をご紹介します。入選された皆様の千代田区への想いのこもった写真を是非ご覧いただきたいと思っております。

結びに、受賞された方々にお祝いを申し上げますとともに、この企画の趣旨にご協賛を頂きました各企業・団体の皆様に心から厚くお礼申し上げます。

平成30年12月吉日
 一般社団法人 千代田区観光協会
 会長 石黒克巳

審査員



武田 憲人氏
 株式会社交通新聞社
 統括編集長 第1出版事業部副部長

1964年大阪府出身。広告代理店NKG、株式会社扶桑社『週刊SPA!』編集部を経て、1996年、株式会社弘済出版社(現・交通新聞社)入社、『散歩の達人』編集部所属。2000年、編集長就任。2017年10月より統括編集長。散歩の達人をベースにした、散歩の達人MOOK、単行本なども含めた責任者となる。



浅野 祐介氏
 株式会社KADOKAWA
 ウォーカープラス編集長

1976年茨城県出身。KKベストセラーズでファッション誌の編集者として活動し、その後、株式会社フロムワンでサッカー誌『ワールドサッカーキング』、サッカーサイト『サッカーキング』編集長を務めた。現在は株式会社KADOKAWAに所属。『ウォーカープラス』編集長としてウォーカー系のメディア事業を担当。



君嶋 広美氏
 東京シティアイ
 サービス課 課長

東京都出身。大手旅行会社にて旅行販売を経験した後、海外放浪で日本の魅力を再認識し、2003年からインバウンド業界に従事。訪日団体ツアー造成や手配、外国人向け宿泊施設立ち上げ、イベントの海外ゲスト招聘業務やアテンド・添乗員等を経て、2013年より東京・丸の内にある観光案内所「東京シティアイ」に勤務。現在はマネージャーとして、観光案内業務の他、企画調整や各企業との交渉を中心に施設運営に携わる。自称「現場監督」。

目次

ご挨拶	P2	ホテルグランドパレス賞	P14
審査員	P3	お茶の水ホテルジュラク賞	P15
🏆 グランプリ・千代田区観光協会会長賞	P4-5	東京ステーションホテル賞	P15
🏆 準グランプリ	P6-7	大丸東京店賞	P16
🏆 審査員特別賞	P8	東京會館賞	P16
🏆 千代田区長賞	P9	OTOGINO賞	P17
🏆 千代田区民賞	P10	学士会館賞	P17
🏆 ジュニア賞	P10	ザキャピトルホテル 東急賞	P18
🏆 スマホ賞	P11	帝国ホテル賞	P18
🏆 ダイヤモンドホテル賞	P11	はとバス賞	P19
🏆 東京ガーデンテラス紀尾井町賞	P12	三菱重工冷熱賞	P19
🏆 赤坂エクセルホテル東急賞	P12	日本建築学会関東支部長賞	P20
🏆 ホテルニューオータニ賞	P13	魅力発見発掘賞	P21-26
🏆 アジャント賞	P13	佳作	P27-29
🏆 キヤノン賞	P14	作品撮影場所マップ	P30
		協賛一覧	P31



グランプリ・千代田区観光協会会長賞



雪降る東京駅舎
山本 峯子

講評：武田 憲人

新装なった東京駅丸の内広場は、正に東京新名所。ここを被写体とした作品は多かったが、雪との合わせ技はお見事というほかない。温かみのある赤レンガや窓から漏れる灯と、冷たい雪とのコントラストも絶妙。



準グランプリ



黄昏の二重橋と白鳥 藤井 愉三

講評：浅野 祐介

伏見櫓を照らす夕日の色合いに白鳥の位置と、「一瞬」を見事に切り取った一枚。白鳥がもう少し進んでいても、逆に進んでいなくても成立しない見事な構図で、時間の流れを忘れさせるような息をのむ美しさを感じました。



準グランプリ



みたままつりの七夕飾り 谷口 泰之

講評：君嶋 広美

深い青色と提灯の黄色のコントラスト。参道でカメラを構える皆さんと気持ちがひとつになった気がします。風になびく七夕飾りに躍動感があり、夏の空気感を思い出させてくれる迫力のある作品。賑やかなお祭りの音が今にも聞こえてきそう。



審査員特別賞



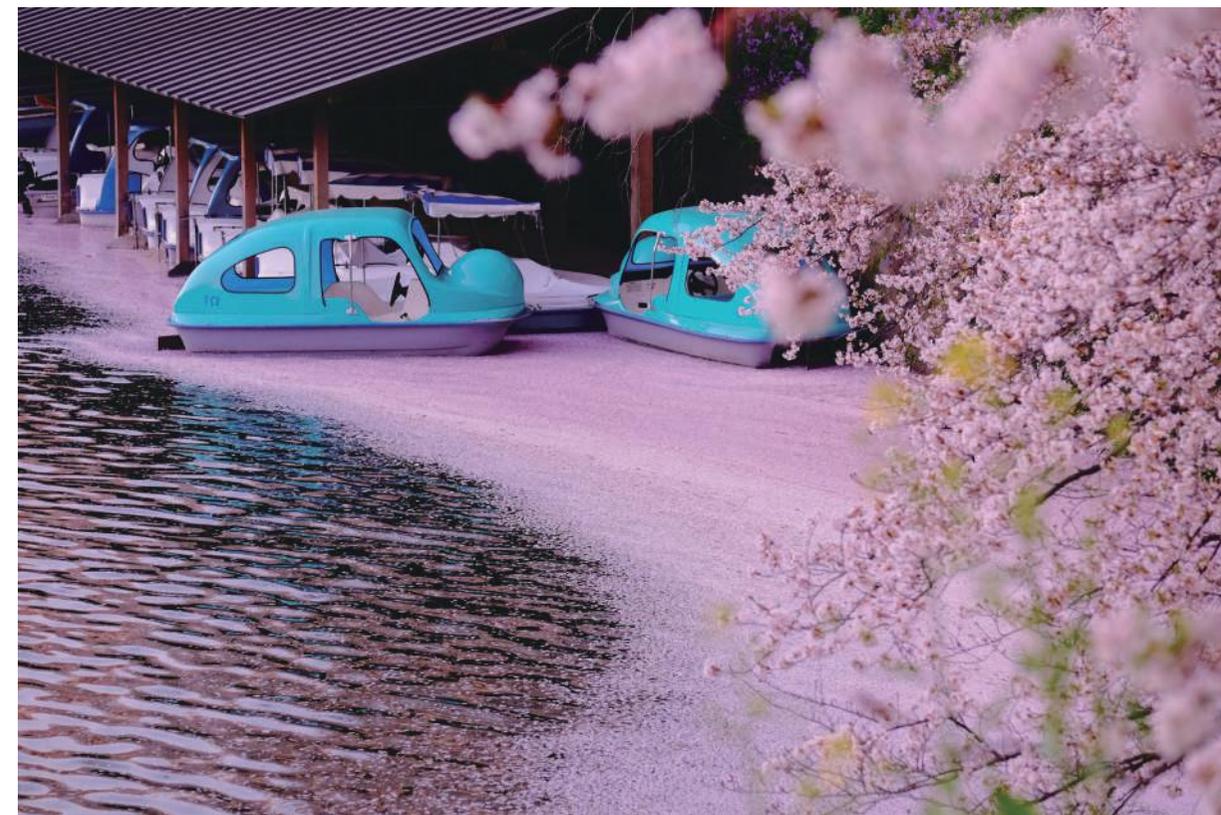
点検 道信 猛夫

講評：浅野 祐介

華やかな祭りを支える裏方の存在にフォーカスした視点のユニークな作品で、色合いの対比でもその視点が表現されています。みたままつりには何度も足を運んだことがありますが、普段は気に掛けることのなかった「点検」がとても新鮮でした。



千代田区長賞



桜の絨毯に浮かぶ 新部 達大

講評：君嶋 広美

ひっそりと出番を待っているボートが花筏に包まれて、舞台裏を垣間見た様な気持ちになります。敢えて人の乗っていないボートというのが情緒的。華やかなピンク色だけでも、静けさを感じる作品です。

◎ 千代田区民賞

黄金色の夜

谷村 亨二

講評：武田 憲人

「みたまま祭り」のクライマックス、迫力ある神輿振りをとらえた一枚。ユニークな構図に心惹かれ、次にスマホのモニターが色鮮やかなことに感心し、最後に「LIVE」ってこういう時に使うのねと目から鱗となる。



◎ スマホ賞

大手門の鏡面共演

三浦 裕介

講評：浅野 祐介

水面に映し出された大手門の姿は、まさに鏡面のように。東京の真ん中にありながら、静寂を感じさせる一枚です。



◎ ジュニア賞

しまった、映っちゃった。

永井 初奈

講評：君嶋 広美

タイトルを見てニッコリ。サーモンピンクのバラも素敵ですが、一生懸命にカメラを構えている姿が微笑ましい一枚。艶やかな薔薇の葉が際立って、初夏のうららかな日差しを想像できます。ここは、私も好きな場所です。



◎ ダイヤモンドホテル賞

お濠を照らす 灯ろう流し

細田 邦昭

講評：武田 憲人

ボート上にいるのがおおむね若年層なので、ノスタルジックな匂いはない。ややチープな色味だがそれがいい。けれん味のない、現代的灯ろう流しの空気が伝わってくる。



東京ガーデンテラス紀尾井町賞

未来を託す道

望月 和夫

講評：君嶋 広美

真っ青な空を従えどんと構えている国会議事堂に続く黄金の道。タイトルに納得。ダイナミックな遠近感が印象強く心に残ります。固い印象の建物が、秋晴れの明るい日差しと温かい色味で中和され、穏やかな雰囲気を感じられます。



ホテルニューオータニ賞

赤い絨毯

鈴木 信行

講評：武田 憲人

ナメ滝のように流れ落ちるつつじの赤が素晴らしい。そのままポスターにしたいと思った。都心のオアシス＝皇居東御苑の実力を思い知る。



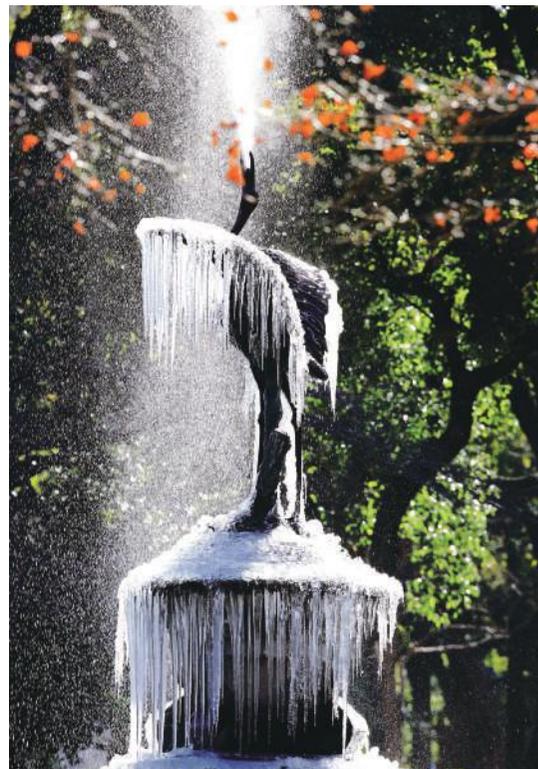
赤坂エクセルホテル東急賞

輝きは一瞬

羽田 修

講評：浅野 祐介

鶴の像につららが下がる光景は日比谷公園の冬の風物詩とも言えます。背景との色のコントラストによって、どこか温かさを感じさせる一枚。



アジャンタ賞

子供たちを見守る 維新の英雄

河本 信雄

講評：浅野 祐介

維新の十傑に数えられる大村益次郎が子供たちを見守っているかのような構図。目を逸らしているかのような子供たちの姿が、無愛想と伝えられる大村益次郎の人柄とあいまって、思わず笑みを浮かべてしまいました。



◎ キヤノン賞

ありや、天気雨！

加藤 健司

講評：武田 憲人

ふと目にとまった不思議な写真。有名な「ミロンガ」の路地だが、これはどういう天気だろう。にわか雪に見えるが、タイトルを見ると雨のようだ。季節は初夏っぽい。



◎ お茶の水ホテルジュラク賞

神田祭り

小山田 貞夫

講評：武田 憲人

神田祭の「神輿宮入」は、氏子町会の神輿がかわるがわる神田明神境内に入り、一日中熱気に包まれる伝統的行事。その迫力が伝わってくる一枚だが、よく見ると外国人の顔も見え、今日的だ。



◎ ホテルグランドパレス賞

春のポップな 千鳥ヶ淵

浦木 香苗

講評：君嶋 広美

皆さんの高揚した気持ちが伝わってきます。満開の桜の下、どんな会話をしているのでしょうか。優しい光の中、赤青黄の手漕ぎボートがお濠に点在し、過去の思い出の風景のようにも感じられますが、天国とはこんな所かと思いました。



◎ 東京ステーションホテル賞

雪合戦

神永 知行

講評：浅野 祐介

東京駅と雪合戦。優しい照明の色合いも手伝って、どこか牧歌的な印象を与える温かみのある作品です。



写し鏡

吉田 優太

講評：君嶋 広美

駅前広場が整備され、品格のある安らぎの空間になりました。御影石の水鏡、温もりを感じるライトアップの駅舎。まさに日本を代表する都市景観が表わされた作品です。美しいだけでなく落ち着いた気持ちになれる写真ですね。



東京タワーと桜

藤井 孝仁

講評：武田 憲人

東京タワーとお濠、そして桜という鉄板三連発。さらにライトアップされた桜のピンク色が圧倒的で、靄のように夜空と水面を染め上げている。まいりましたという感じ。



さくらの樹の下で

田島 大輔

講評：浅野 祐介

美しい桜と、誰ひとりその桜を見上げていない、というユニークな構図に興味を惹かれました。桜という、ある種「特別なもの」が普通に存在する、日本の魅力を逆説的に伝えてくれているようにも感じました。



初化粧

山田 幸奈

講評：君嶋 広美

こんな日にみなさんいらしていたのですか！神職の方の袴のブルーが雪に映えますね。木の枝の黒と雪の白。大都会東京の中心で、こんな風景に出会えるとは感激です。今度雪が降ったら、私も行ってみようかと思いました。



ザ・キャピトルホテル 東急賞

社殿前へ 座間 章尋

講評：浅野 祐介

江戸三大祭りのひとつ、山王祭のにぎわいを表現した作品。人の背中越しに神輿と社殿をとらえた構図が、祭りの盛り上がりを演出しています。



はとバス賞

工事が完成した 東京駅をぐるりと

中村 博志

講評：君嶋 広美

2017年の12月に全面供用が開始された駅前広場。丸ビルから眺めた時の、あの清々しく晴れ晴れとした気持ちが表れていて、植栽や芝生の緑も美しく、広場の構造も良くわかります。はとバスの黄色が効いていますね。



帝国ホテル賞

日比谷で打ち水 小池 基夫

講評：武田 憲人

東京新名所・東京ミッドタウン日比谷は巨大でピカピカの商業施設だが、そんなこととは関係なく、今年の夏はひたすら暑かった。アスファルトやコンクリートの放射熱を一瞬和らげる、子供たちの手による水撒きが愛らしい。



三菱重工冷熱賞

千代田の春 杉浦 則之

講評：武田 憲人

動きを感じさせない写真は目にとまらないものだが、これは特別。深夜(ではないかもしれない)、すべてが止まったかのような沈黙が支配している。しかし春はもう始まっている。喧騒の合間の沈黙。

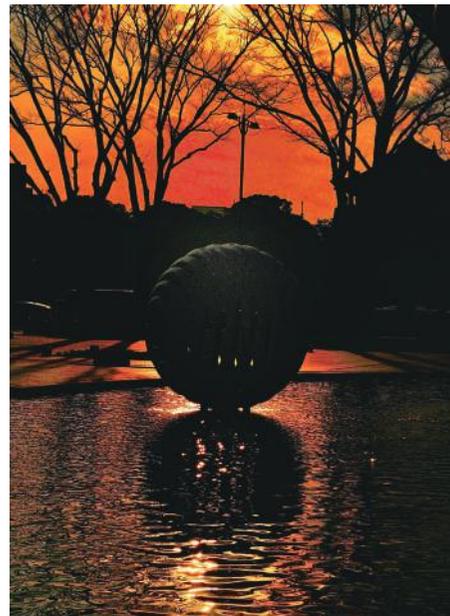


講評：日本建築学会関東支部長 近藤 典夫

ゴールデンタイム

関口 幸雄

帰路につく人や安らぎを求める人を温かく包みこんでいる夜の都会において、建物が光でライトアップされ、雨上がりの濡れた地面には建物が映し出されているこの風景は何とも幻想的である。遠くに見える高層ビルがアクセントになり、構成のバランスがとても良い作品である。



和田倉門の夕景

堀之内 稔

球形のオブジェが中央に映し出されているこの写真を見た瞬間に、強烈なインパクトを受けた。さらに、夕焼けの赤色とその光が池の表面の小さな波に反射して作られる色の鮮やかな変化は、見る人の目を釘付けにするほどの美しい作品である。



落ち葉遊び

鹿島 秀夫

街中に植えられたイチョウの葉は、晩秋を思わせるほどに黄色く色づき、地面はイチョウの葉で敷き詰められおり、日本の秋の風景がここにある。そこに、少女が都心の秋を満喫するしぐさが可愛らしく心癒される作品である。



電車と花いかだ

麻野 修一



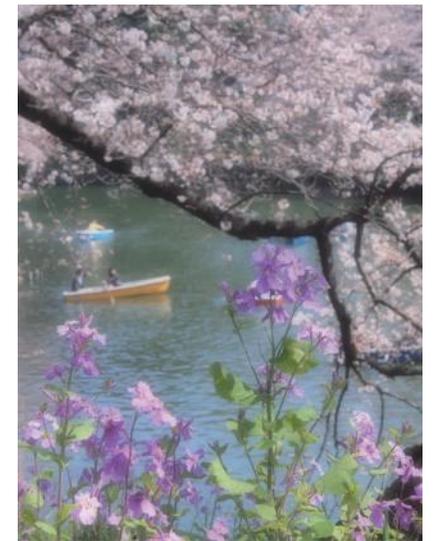
まつりのにぎわい

市来 勇太



千代田の茜

伊藤 嘉昭



春につつまれて

宇草 綾子



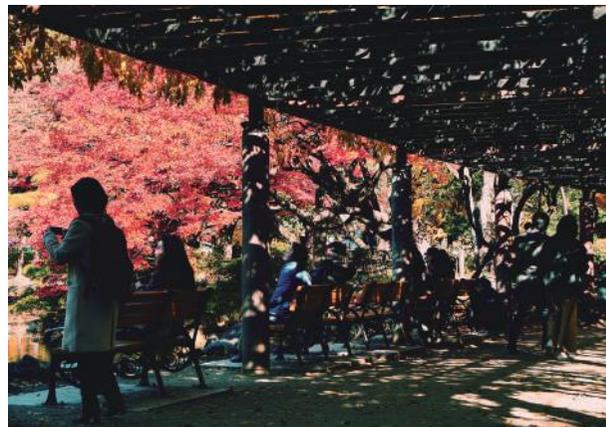
趣 (おもむき)
片岡 佳子



丸の内
上河内 憲輝



願いをのせて
加藤 加奈子



木漏れ日の中で
齋藤 尚夫



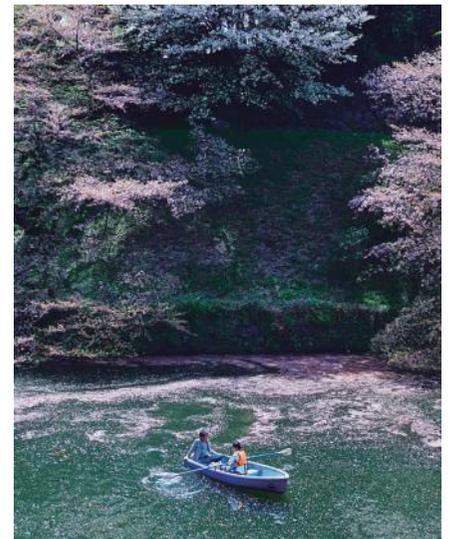
丸の内銀世界
鈴木 正和



光彩
田中 久顕



雪の神田明神
田中 早



花筏に浮かぶ
永瀬 篤信



日比谷公園の彩り
丹羽 由美子



煌めきの日比谷
蓮見 幸徳



やさしいまなざし
根本 義弘



都心の秋
伴 博之



トワイライト東京
伴 博之



儀装馬車が見れる風景
平田 和彦



ガード下の昭和情緒
樋口 邦夫



桜の隙間からの風景
Hirasanno PEN



さくらクルーズ
増田 ヒロ子



千鳥ヶ淵の夜桜
村野 信義



和田倉噴水を見上げる少年
松村 豊吉



静寂
山本 峯子



富士見多門と桜
阿部 賢司



時の流れを感じて
依知川 祐美子



新ゴジラ現る！
上原 正行



神輿渡御参道祭礼
太田 洋之



東京夜桜
尾崎 ゆり



丸の内展望
小野田 淳二



美は永えに
上河内 憲輝



黄昏の祈り
川北 徹



憩いのグリーンカーペット
小島 勝幸

◎ 佳作



日比谷公園 X'mas マルシェ
齋藤 力



雪の皇居前広場
鈴木 孝晴



順風
相馬 達也

◎ 佳作



絶景かな
堀江 澄信



流れる紅葉
宮川 信吾



一ツ橋に巨大ロボット現る
森田 康裕



東京駅
田中 敏夫



雪景色を撮る
多和 裕二



珍客
津布久 郁夫



涼み舟
吉田 優太



水面(みなも)の夢
吉村 美令奈



Crystal Wing
吉村 美令奈



さくら色を感じたら
新留 栄一郎



美しい朝
西田 孝子



新名所でよさこい踊り
日高 猛



織姫 短冊に願いを
吉村 美令奈



平成最後の夏に
若松 京子

東京大回廊写真コンテスト

次回
応募期間
2018.12.20 ▶
必着 2019.8.31

テーマ
「千代田区の魅力」

作品
撮影場所



- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 雪降る東京駅舎…………… 東京駅丸の内口 | 15 春のポップな千鳥ヶ淵…………… 千鳥ヶ淵 |
| 2 黄昏の二重橋と白鳥…………… 二重橋 | 16 神田祭り…………… 神田神社 |
| 3 みたままつりの七夕飾り…………… 靖国神社 | 17 雪合戦…………… 東京駅前 |
| 4 点検…………… 靖国神社参道 | 18 写し鏡…………… 東京駅 |
| 5 桜の絨毯に浮かぶ…………… 千鳥ヶ淵 | 19 さくらの樹の下で…………… 皇居外苑 |
| 6 黄金色の夜…………… 靖国神社 | 20 東京タワーと桜…………… 千鳥ヶ淵 |
| 7 しまった、映っちゃった。… 丸の内ブリックスクエア | 21 初化粧…………… 靖国神社 |
| 8 大手門の鏡面共演…………… 大手門 | 22 社殿前へ…………… 日枝神社 |
| 9 お濠を照らす灯ろう流し…………… 千鳥ヶ淵 | 23 日比谷で打ち水…………… 東京ミッドタウン日比谷 |
| 10 未来を託す道…………… 国会議事堂前 | 24 工事が完成した東京駅をぐるりと…………… 東京駅 |
| 11 輝きは一瞬…………… 日比谷公園 | 25 千代田の春…………… 千鳥ヶ淵 |
| 12 赤い絨毯…………… 皇居東御苑 | 26 ゴールデンタイム…………… 東京駅 |
| 13 子供たちを見守る維新の英雄…………… 靖国神社 | 27 和田倉門の夕景…………… 和田倉噴水公園 |
| 14 ありゃ、天気雨！…………… 神田神保町 | 28 落ち葉遊び…………… 行幸通り |

協賛

	ダイヤモンドホテル		千代田区日中友好協会
	江戸総鎮守 神田明神		TOKYO GARDEN TERRACE 紀尾井町
	赤坂 エクセルホテル東急		The New Otani
	キャノンマーケティングジャパン株式会社		Indian Spice Magic AJANTA ajanta.com
	公益財団法人 出光美術館		ホテル グランドパレス 東京・九段
	DAIMARU 大丸東京店		THE TOKYO STATION HOTEL
	otogino		アルカディア市ヶ谷 私学会館
	帝国ホテル		THE CAPITOL HOTEL TOKYU
	独立行政法人日本芸術文化振興会 国立劇場		三菱重工冷熱株式会社
	学校法人 大原学園		80. Love TOKYO FM
	千代田区商店街連合会		三省堂書店 BOOKS SANSEIDO
	千代田区商工業連合会		東京商工会議所 千代田支部
	株式会社 文化カラー印刷		企画・制作 Philart フィレール
	株式会社ラビス・ラズリ		一般社団法人 日本建築学会 関東支部

一般社団法人 千代田区観光協会
千代田の魅力発見！第3回 東京大回廊写真コンテスト入選作品写真集

発行 / 一般社団法人 千代田区観光協会
住所 / 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-17 Tel.03-3556-0391 Fax.03-3556-0392 E-Mail / info@kanko-chiyoda.jp
発行日 / 平成30年12月12日 制作・印刷 / 株式会社 佐野